

## 事務事業評価表（公共施設）

1次評価日（主幹等） 27年3月31日

2次評価日（課長等） 27年3月31日

1 事業名	都市公園管理事業			コード	153201
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者 清水 英二
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政 策	都市空間の充実	施 策	公園の整備
		予算科目	都市公園管理総務費・都市公園維持補修費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		設置条例	岡谷市都市公園条例		

## ●事業の内容（D0）

## 4 施設の概要・設置目的

\*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要 (簡潔に)	都市公園の利用者に、安全で快適に利用していただくため施設の適正な維持管理や老朽施設の改修、修繕等を行う。また、一層の利用促進を図る。
目 的	対 象 者 市民
	意 図 都市公園を安全、安心に利用していただく。

## 5 施設の管理運営状況

指定管理者	公益財団法人 おかや文化振興事業団	26年度指定管理料	85,723,000 円
施設における 通常業務	市内19都市公園の内3公園を指定管理者が、残り16公園を市が直接管理を行った。 管理内容 ・施設維持管理及び修繕、改修 ・使用料の徴収 ・指定管理者による誘客等自主事業の実施		
事業の実施内容	(26年度に施設で行った運営事業・自主事業など) ・公園施設の維持管理と有料施設の運営管理を市民ニーズに対応しながら実施した。 ・やまびこ公園では、プリンス&スカイラインミュージアムの開館や、やまびこフェスティバル等を実施し誘客に努めた。また、ミニトレインの夏季試験運行を実施した。		
前年度の課題 への対応	来園者が安全で安心して利用できるよう公園施設長寿命化計画を基に施設の点検、改修等を行った。		

## 6 施設の利用状況

\*①は貸館施設のみ対象

\*②・③はどちらかの欄に記入 \*

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度(予算)
① 施設稼働率	0.0%	0.0%	0.0%	
年間開設日数(日)	192	187	187	185
1日の開設時間(時間)	8	8	8	8
年間利用可能時間(時間)	1,536	1,496	1,496	1,480
年間利用実績(時間)				
② 年間利用者数(人)	136,975	149,326	138,949	135,000
有料利用者数	15,169	15,446	12,718	135,000
無料利用者数	120,336	131,153	123,514	0
減免措置者数	1,470	2,727	2,717	0
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	713.4	798.5	743.0	729.7
⑤ 施設利用状況の説明	鳥居平やまびこ公園、塩嶺御野立公園、鶴峯会館の利用者数を計上した。			

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度(予算)
① 直接事業費	107,976,345	109,598,158	143,673,413	109,416,000
経常経費	107,799,925	109,451,253	108,676,013	108,776,000
臨時的経費	176,420	146,905	34,997,400	640,000
* 臨時的経費の説明	公園施設改修工事費及び備品購入費。			
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度(予算)
② 人件費	12,400,000	12,400,000	12,400,000	12,400,000
正規職員の人数(人)	1.55	1.55	1.55	1.55
③ 合計コスト(①+②)	120,376,345	121,998,158	156,073,413	121,816,000
前年度比		101.3%	127.9%	78.1%
財源内訳				
一般財源	114,233,940	115,323,108	120,513,589	111,756,000
特定財源	6,142,405	6,675,050	35,559,824	10,060,000
* 特定財源の説明	県補助金、建物共済災害共済金、公園施設使用料等			
④ 施設使用料年間収入額	6,142,405	6,675,050	5,140,938	10,060,000
⑤ 年間減免措置額	540,500	559,450	265,540	500,000
⑥ 受益者負担割合	6.2%	6.6%	3.8%	9.7%
⑦ 活動一単位あたりコスト	878	816	871	
前年度比		93.0%	106.8%	
⑧ コストに関する補足説明	近隣に遊戯施設があり、年間使用料が減少した。			

## ●事業の評価(CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 93.1%	0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 77.0%	0

## ●改善の内容(ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) ・来園者が安全で安心して利用できるための公園施設の維持管理費の増大。 ・やまびこ公園内、車移動の要望及び来園者の増加。
改善方法	(上記の課題をふまえて27年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・公園施設長寿命化計画に基づく施設の定期的な点検、改修等の実施。 ・大規模な改修、更新は都市公園整備事業費としての対応。 ・公園内の歩車分離実施、遠路の改修等の実施。
改善開始時期	平成27年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による27年度の優先度 *H25年度施策評価表より転記すること	B	
13 大規模修繕の予定				
	予定事業費	60,000,000 円	予定時期	平成29年度
内容	センターハウス。管理棟屋根改修			